

六つ石山読図及びワラビ採り山行報告

【山行日】2016年5月1日（日曜日）

【山域】奥多摩

【ルート】東日原～六つ石山～境橋

【登山方法】ハイキング

【天候】晴れ

【参加者】CL 辻本、杉山、井上、渡辺（純）、清野（報告）

【コースタイム】

東日原バス停 10:00 → タル沢尾根とりつき 10:20 → 将門馬場 13:45 → 六つ石山頂

14:20 → 境橋バス停 18:15

【内容】

新宿駅7時44分発ホリデー快速にて奥多摩駅まで向かう。バスに乗り換え東日原バス停で下車した。

日原川までくだって行き、辻本CLより読図講習を受ける。タル沢尾根とりつきより登山開始。森林伐採後のザレた急登で道はなく踏み跡もない。1歩登るごとにズズと地面が崩れ足をとられた。へとへとになりながら40分ほどして尾根にでた。

美しい新緑に包まれた尾根は急な登りが続いたが、歩きやすかった。ツツジはもう終わったらしく、スミレのほか花はほとんど見られなかった。途中モノレールのレールがあらわれた。さらに登っていくとレールの先は落石防止ネット設置工事の基地に続いていた。日曜日のせいか無人だった。

登り始めより、3時間25分ほどで将門馬場に着いた。ここより先六つ石山頂まではなだらかな登山道で、ミツバツツジや咲き残った山桜が目を楽しませてくれた。

下山はハンノキ尾根を下る予定だったが、メンバー全員がワラビ採りに夢中になり、気づかずに尾根の手前の作業道に入ってしまった。どんどん下っていくと、沢に出た。スマホで現在位置を確認したところ、小中沢に降りてきてしまったらしい。

メンバーの読図と辻本CLの判断で、登り返し、大きく巻いてハンノキ尾根に出ることが出来た。不安な気持ちもあったので、ハンノキ尾根と確認できた時には、安堵した。尾根にはおいしそうなワラビが群生しているところがあったが、日没まで時間がないので、横目で見ながら通り過ぎていった。足の痛さをこらえながら、ずいぶん長い時間下っていった。境橋バス停に着いた頃にはあたりは薄暗くなっていた。

P. S. 翌日あく抜きしたワラビを煮物にしたら、美味しかった！

次ページに写真あり



1.日原川での読図講習



2.タル沢尾根とりつき斜面



3.急登なタル沢尾根



4.新緑の中を登る



5.六つ石山頂



6.ミツバツツジの前で



7.ワラビ採り



8.収穫したワラビ